

# 当店だけが独占使用できるM-3.3・P-3.2は、髪と肌に悪影響を及ぼさない天然由来の原料で出来ています。

前処理剤・M-3.3は、海洋深層水から抽出したミネラルのうち、マイナスの電荷を持つものを集めたものと、海・山野に自生する繁殖力旺盛な野生植物30種類から抽出したミネラルが主原料です。後処理剤・P-3.2は、海洋深層水から抽出したミネラルのうち、プラスの電荷を持つものを集めたものが主原料です。このように当社が使用しているM-3.3とP-3.2は、海洋深層水と野生の植物、天然由来の原材料でできていますので、髪と肌に悪影響を及ぼさないのです。（皮膚一時刺激試験→いわゆるパッチテスト済み）



**原材料**

- 海洋深層水
- 野生植物抽出ミネラル

植物名：ヒバマタ・コンブ・ワカメ・ホンダワラ・アラメ・マツ・ヒノキ・スギ・タケ・クマザサ・イタドリ  
若芽・ヨモギ・カヤなど



M-3.3とP-3.2の原料になるミネラルは、安全なだけではありません。原料に使用されている「海洋性のミネラル」と「植物抽出ミネラル」は、元々自然界の生体の中に存在したもので、非常に特殊で稀少なものです。これは通常のミネラルとは、分子構造が違うものです。生体の中に存在していたミネラルは鉱物のミネラルと比べ、生体への親和性が高いだけでなく、生体へ良い影響を及ぼす、高エネルギーを持っています。イオン測定器で測定すると、同じミネラルでも種類によって、飛び出している電子の量が歴然と違うことが確認できます。市販のミネラルウォーターでは、髪がツヤツヤになったりしませんよね。それは、同じミネラルと言っても、ぜんぜん違うものだからです。このように、多量の電子を持っており、その電子がアミノ酸よりもっともっと小さいナノレベルで作用するので、髪にも肌にも使えるのです。



**同じミネラルでも、ぜんぜん違います!**

イオン測定器「イオンテスター COM-3010PRO」で測定しました。同じミネラルといっても、発生しているイオンの量はこれだけ違います。

サプリメントのミネラルを測定 (Reading: 3)

M-3.3の原料植物ミネラルを測定 (Reading: 1104)

## 貴女の髪と肌を若く保つホームケア用M-3.2!!



「ヘアケア」「スキンケア」に使用していただけます（詳しい使用法は、付属のリーフレットをお読み下さい）。ご自宅でも、M-3.3をご利用いただくことで、施術後の「ツヤ」と「手触り」がより長く続き、髪はツヤツヤ、肌はスベスベになります。

「髪」に「肌」にと、トータルにケアされたい方には、量を気にせずご利用いただける、断然お得なM-3.3業務用サイズ（1000ml）をおすすめ致します。（業務用サイズには、専用スプレー容器を無料でお届けしています）



# 当店だけが独占使用できるM-3.3・P-3.2は、 科学理論に基づいて作られています。

## 今までの発想とは違う。

今までの美容技術は「いかにして髪の内部に有用成分を入れるか」ということに主眼を置いたものでした。傷んだ髪に外から、栄養分を補給するという発想です。しかし、サイズの(クラスタが)小さければ髪の内部に入るという単純な話ではありませんし、そもそも、髪の内部に入るサイズではないものも多々あります。ただ、髪の内部に入らないものの、髪の表面に皮膜を作るものものもありますので、一時的にツヤと手触りを手に入れることはできます。これは(皮膜を形成するという点では)シリコンも同じ事です。しかし、**髪の表面に皮膜が形成されたからといって「髪が本当にキレイになった」と言えるのでしょうか?**「ファンデーションを肌塗って、肌の状態が良くなった」とは言えないのと同じことです。

## M-3.3とP-3.2は、髪を内部からケアします。

M-3.3・P-3.2の考え方は、「有用成分を髪の中に入れ、髪を補正する」のではなく、「髪の中に元々あるタンパク質に水分とミネラルを補給して、ケアする」というものです。

詳しく説明しますと、髪が傷んでいる状態とは、髪が「酸化」している状態です(シミ、シワ、サビ、すべて酸化です)。髪が酸化すると、だんだんダメージは大きくなり、髪の中のタンパク質は水分を失ってしまいます。この傷んで必要な水分を失ってしまったタンパク質は、ガチガチに固まっています。例えるなら、水で戻す前の高野豆腐みたいなものです。この硬くなってしまったタンパク質に水分を補給し、元の状態に戻るのがM-3.3です。

なぜ、M-3.3で水分が補給できるかというと、M-3.3が多量の電子を持っているからです。傷んだ髪の内部は酸化により、電子を失い+の電位に傾いています(図①)。M-3.3は多量の電子を持っているので、M-3.3を髪にスプレーすると、髪の内と外で電子の量に差が生まれます(図②)。この電子の量の差を平衡にしようと、髪の内部にM-3.3の電子が移動します(図③)。このときに、M-3.3の電子と一緒に「水」と「ミネラル」が髪の内部に入り、傷んだタンパク質に水分とミネラルが補給されます。水分が補給され髪が膨潤し、太くなります(図④)。これにより髪のツヤが良くなり、また、キューティクルも整うので、手触りも良くなります(図⑤)。「髪の中に元々あるタンパク質に水分とミネラルを補給しケアする」ここが、有用成分を髪の内部に入れて補正するという考え方の従来の美容技術との大きな違いです。

M-3.3を前処理剤として使用すると、髪を正常な状態に戻し、ダメージに負けないようにしてから、パーマ、カラーなどの施術に入ることができます。つまり、傷んだ髪の方でも、安心して施術することが可能です。

なお、P-3.2は髪を「等電点」に戻し、髪が傷みにくい状態にします。「等電点」とは、髪の内部のタンパク質に水分が十分に供給され、タンパク質が一番安定している状態です。傷んだ髪にM-3.3が水分とミネラルを補給し正常な状態にしP-3.2が保つので、せっかく良くなった状態の髪が2、3日で元の状態に戻ることがないのです。

## M-3.3は浸透力を高める。

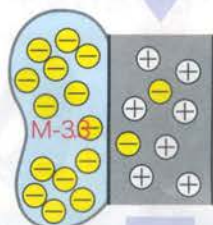
M-3.3を髪に塗布するとイオンバランスがくずれ、水が髪の中に入ります。パーマやカラーなどの薬剤にM-3.3を混ぜておくと、この水の移動と共に薬剤も髪の内部に入ることになります。つまり、薬剤が髪に浸透しやすくなるのです。M-3.3は薬剤の浸透力を高めるため、①薬剤の使用量を減らし、②放置時間を短縮することができます。

## イオン化一有害物質を中和する一

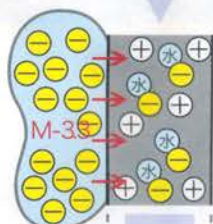
M-3.3は還元イオンを豊富に含むため、アンモニアなどの有害物質を中和することができます。薬剤の頭皮への刺激は緩和され、臭いは抑えられます。パーマ液でいいものと、パーマ液は「アンモニア」「モノエタノール」「チオグリコール酸」「トリートメント剤」でできています。このパーマ液に、M-3.3を混ぜると、有害なアンモニアは中和作用でアンモニアイオンに変わります。これにより、髪へのダメージを減らすことが出来るのです。



①「傷んだ髪の内部」  
酸化することで電子を失い、+の電位に傾いています。



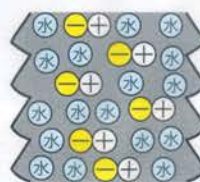
②「M-3.3をスプレーした状態」  
M-3.3は、多量の電子を持っているため、髪の内と外でイオンバランスがくずれます。



③「電子の移動」  
髪の内と外の電子の量を平衡にしようと、電子の移動がおこります。このとき、電子と結合している水も髪の内部に入ります。



④「髪の膨潤」  
髪内部の水分量の増加にともない、髪が膨潤し、太くなります。



⑤「正常な状態の髪」  
電子と水が補給され、髪が膨潤し太くなるので、ツヤが良くなります。また、キューティクルも整い、手触りも良くなります。

当店のパーマやカラーは、髪を薬剤に対して強い状態にし、施術時は、  
①薬剤の量を減らし、②放置時間を減らし、③有害物質をイオン化するので、  
髪へのダメージを減らし、むしろ施術前より髪を本質的に良い状態に  
できるのです。だから、「ツヤ」と「手触りが」ずっと続くのです。